

高等学校 令和8年度

教科

地理歴史科

科目

地理総合

教科： 地理歴史科

科目： 地理総合

単位数： 2

単位

対象学年組：第 3 学年

A 組

～

E 組

教科担当者： (A組： )

(C組： )

(D組： )

(E組： )

( 組： )

( 組： )

使用教科書： ( 『わたしたちの地理総合 改訂版』山川出版社 )

教科 地理歴史科

の目標：

【知識及び技能】

諸地域の特色と世界の歴史展開に関して理解し、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察し課題解決に向けて考える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理・歴史の課題を主体的に解決しようとする態度を養い、自他国の文化を尊重する大切さの自覚を深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域について理解する。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	・概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考え、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	・課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を獲得する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	A 地図や地理情報システムで捉える現代世界 ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ・現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。	【指導事項】 ・地図の読図や、世界的視野にたつて日本や諸外国などを捉えられるよう指導する。 【教材】 ・教科書 ・WEBサイト 【一人1台端末の活用等】 ・生徒に地図の理解を促進するために、GISの視点でWEBサイトを活用する。	【知識・技能】 ・地理事象や初歩的用語について理解する。 ・地図や地理情報などの様々な史資料から、適切な史資料を選び活用して調べることができる。 【思考・判断・表現】 ・社会的事象について、地理的見方・考え方を働かせて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平和で民主的な国家及び社会の形成者になるための活動に積極的に関与しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学期	A 地図や地理情報システムで捉える現代世界 ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ・現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。	【指導事項】 ・地図の読図や、世界的視野にたつて日本や諸外国などを捉えられるよう指導する。 【教材】 ・教科書 ・WEBサイト 【一人1台端末の活用等】 ・生徒に地図の理解を促進するために、GISの視点でWEBサイトを活用する。	【知識・技能】 ・地理事象や初歩的用語について理解する。 ・地図や地理情報などの様々な史資料から、適切な史資料を選び活用して調べることができる。 【思考・判断・表現】 ・社会的事象について、地理的見方・考え方を働かせて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平和で民主的な国家及び社会の形成者になるための活動に積極的に関与しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	B 国際理解と国際協力(1)生活文化の多様性と国際理解 ・世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 ・世界の人の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	【指導事項】 ・具体的な民族を挙げ、その民族について、地理的要因や歴史的要因など多面・多角的に理解できるように授業を展開する。 【教材】 ・教科書 ・WEBサイト 【一人1台端末の活用等】 ・具体的な民族の生活をWEBサイトなどを用いて調べさせたり、地図を使ってその民族がクラス地理的特徴について考えさせる。	【知識・技能】 ・地理事象や初歩的用語について理解する。 ・地図や地理情報などの様々な史資料から、適切な史資料を選び活用して調べることができる。 【思考・判断・表現】 ・社会的事象について、地理的見方・考え方を働かせて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平和で民主的な国家及び社会の形成者になるための活動に積極的に関与しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	C 持続可能な地域づくりと私たち (1)自然環境と防災 (2)生活圏の調査と地域の展望 ・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解する。 ・生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	【指導事項】 ・自分たちが住む地域について、興味を持ち、社会参画する姿勢を育む。 【教材】 ・教科書 ・WEBサイト 【一人1台端末の活用等】 ・防災について個人端末で各自の住む周辺ハザードマップを作成させる。	【知識・技能】 ・地理事象や初歩的用語について理解する。 ・地図や地理情報などの様々な史資料から、適切な史資料を選び活用して調べることができる。 【思考・判断・表現】 ・社会的事象について、地理的見方・考え方を働かせて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・平和で民主的な国家及び社会の形成者になるための活動に積極的に関与しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1 合計 70